

効率的な財政運営を

〜一本算定を見据えて〜

質

本年度が集中改革プラン最終年度であります。本市財政の現況と、集中改革プランの成果および今後の方針について問う。

答 市長

平成21年度までの削減目標額13億2000万円に対し、平成20年度までの削減実績は14億2500万円、108パーセントであります。

福祉、医療分野の扶助費、介護保険特別会計などへの繰出金の増加など、今後に必要な課題を残しています。第2期プランは、中・長期的な視点に立った計画を進めてまいります。



え とう まさ ひろ
衛 藤 正 宏

防火水槽 進入路の整備は

〜現地調査、協議を行い検討〜

質

防火水槽は、火災時において、欠かせない施設であります。安全な消火作業ができるよう、進入路などの環境整備はどうするのか。

答

総務部長

防火水槽の必要性、重要性を考慮した上で、必要最小限の生コンなどの原材料支給が考えられます。

作業については、地域の方や地元消防団員に依頼しなければなりません。防火水槽周辺の草刈り、樹木の伐採などの日ごろの管理同様、地域の安全、安心は自らを守るという気持ちで協力をお願いしたい。



進入路が狭く、蓋のない防火水槽



有蓋で整備された防火水槽

合併処理浄化槽の推進 行政は立ち上げれ

～22年度予算に反映～



ふか た せい ぞう
深 田 征 三

質

市は、「豊後大野市環境基本条例」の下に、その「基本計画」を策定中である。

また、今後20年間の「豊後大野市生活排水処理施設整備構想」が策定される最中で、同時期に、市の中心市街地を流れる玉田川の水質汚染による魚の大量死の実態が新聞報道された。

行政として、生活廃水対策を真摯に、早急に取り組むべきだ。

答
市長

本市では、生活排水対策の整備事業については、本年4月より「個人設置型合併処理浄化槽」に一本化しておりますが、住宅密集地などにおいて、浄化槽を設置する土地を有しない世帯の対策については、近隣の複数世帯による浄化槽の共同管理方式など、個別の事情に応じた方策を検討しております。

今回、「生活排水処理施設整備構想」を策定する中で、個別処理

よりも集合処理が適している地域が、三重町の中心部、三重町菅生、千歳町の中心部、犬飼町の中心部の4地域がありました。



住宅が密集している三重町中心部

この地域は他の地域に比較して住宅の密集度が高く、生活排水がより多く排水される地域ですので、重点的に浄化槽の整備を推進してまいります。

現在、今後の浄化槽設置整備事業の補助制度を見直し、平成22年度予算の中で提案してまいります。